

令和3(2021)年度小山市人権施策推進基本計画進行管理に係る事業評価の結果

◆小山市人権施策推進審議会の意見

1. 総括 【全体(93事業)】

事業年度	事業実績達成度	前年比	人権視点達成度	前年比
令和3(2021)	78.3%	5.2%	86.9%	△ 2.1%
令和2(2020)	73.1%	—	89.0%	—

令和3(2021)年度の進行管理事業評価について、事業実績達成度は78.3%、人権視点達成度は86.9%という結果になった。

前年度と比較すると、事業実績達成度は5.2%上がり、人権視点達成度は2.1%下がっている。新型コロナウイルス感染症の影響により中止になっていた事業を再開したものがある一方、オンライン開催などの手法を取ることが難しい事業もあり、事業実績と人権視点についての自己評価に大きな幅があると考えられる。

当審議会として、評価する点、今後、人権施策を実施する際に注意していただきたい点として、以下の事項を指摘するものである。

1. 研修会や講座の開催については、リモート等での取組の検討も必要である。
2. いじめ・貧困・介護に対するさらなる支援を望む。
3. 多言語翻訳機の設置の拡充により、外国人の暮らしがさらに充実することを望む。
4. 「性的マイノリティの人権」と「働く人の人権」の取組を進めること。

最後に、各事業において見えてきた課題をもとに、市民への適切な支援が図れるように取組をお願いするものである。

2. 基本的取組に対する事業評価

(1) 人権教育・人権啓発 【12事業：事業番号 1～12】

事業実績達成度	78.3%	人権視点達成度	88.3%	
○ 講評				
●研修会や講座の開催については、リモート等での取組の検討も必要である。				
●まちづくり出前講座のPRとして、自治会や包括支援センターなどへの働きかけをしたらどうか。				
●医療福祉従事者への啓発の取組を望む。				

(2) 相談・支援 【2事業：事業番号 13～14】

事業実績達成度	80.0%	人権視点達成度	80.0%	
○ 講評				
●「各種相談窓口一覧」は人権課題ごとに窓口を分類しているので分かりやすい。				

3. 個別課題に対する事業評価

(1) 女性 【10事業：事業番号 15～24】

事業実績達成度	80.0%	人権視点達成度	94.0%	
○ 講評				
●男性の育児休業が「取るだけ育休」とならないよう、スキルアップセミナーの充実と開催の継続を望む。				
●「困難な問題を抱える女性への支援に対する法律」が令和6年4月より施行されるので、女性へのさらなる支援を望む。				
●「思春期保健講座」「中学生ピアカウンセリング」について、多くの学校での実施を望む。				

(2) 子ども 【17事業：事業番号 25～41】

事業実績達成度	76.5%	人権視点達成度	82.4%	
○ 講評				
●「子ども家庭庁」との連携を望む。				
●「いじめ」の中には、暴行・恐喝など警察が対応すべき犯罪が含まれていることを関係者が認識することも必要である。				
●ヤングケアラー問題について、さらなる取組を望む。				
●貧困家庭について把握し、手厚い支援を望む。				

(3) 高齢者 【11事業：事業番号 42～52】

事業実績達成度	72.7%	人権視点達成度	85.5%	
○ 講評				
●高齢者参加の事業の再開にあたっては、引き続き、感染対策を講じて取り組むこと。				
●介護保健制度の理解を進めるため、生涯学習の一つとしての周知啓発が必要と考える。				

(4) 障がい者 【10 事業：事業番号 53～62】

事業実績達成度	74.0%	人権視点達成度	80.0%	
○ 講評				
●職員及び障害福祉事業所等に『合理的配慮の義務化』の周知啓発に引き続き取り組むこと。				
●子どもの障がいを受け止められない保護者に対する、小山市障がい児者基幹相談支援センターのさらなる支援を望む。				

(5) 同和問題 【5 事業：事業番号 63～67】

事業実績達成度	84.0%	人権視点達成度	88.0%	
○ 講評				
●人権運動団体のオブザーバー参加の検討を望む。				

(6) 外国人 【7 事業：事業番号 68～74】

事業実績達成度	82.9%	人権視点達成度	91.4%	
○ 講評				
●今後、市内の公共施設に多言語翻訳機の設置の拡充を望む。				
●初級英語講座が好評なので、各地区の公民館交流センターの講座で開催できるとよい。				
●オンラインの日本語教室は、日本語を学びたい外国人に学習の場を提供でき、評価する。				

(7) HIV感染者・ハンセン病患者及び元患者 【4 事業：事業番号 75～78】

事業実績達成度	75.0%	人権視点達成度	90.0%	
○ 講評				
●感染症を正しく理解し、感染者を特別視しないよう啓発していく必要がある。				
●新型コロナウイルスの感染者に対する人権への配慮が無かったように感じる。感染症と人権問題をしっかり考えてみる必要がある。				

(8) 犯罪被害者とその家族 【3 事業：事業番号 79～81】

事業実績達成度	100.0%	人権視点達成度	100.0%	
○ 講評				
●パネル展の開催は有効な手段であり、評価する。				

(9) インターネットによる人権侵害 【4 事業：事業番号 82～85】

事業実績達成度	80.0%	人権視点達成度	85.0%	
○ 講評				
●インターネット上の誹謗中傷対策の強化のため、侮辱罪の厳罰化について、周知啓発すること。				

(10) 災害に伴う人権問題 【1事業：事業番号 86】

事業実績達成度	80.0%	人権視点達成度	80.0%	
○ 講評 ●新型コロナウイルス等感染症に対応した避難所運営をマニュアル化していることを評価する。				

(11) その他の人権問題 【2事業：事業番号 87～88】

事業実績達成度	80.0%	人権視点達成度	80.0%	
○ 講評 ●拉致問題に対する市民への啓発は重要である。アニメ「めぐみ」の活用も有効である と考える。 ●LGBTQにおけるパートナーシップ制度の取組を進めること。				

4. 推進体制 【5事業：事業番号 89～93】

事業実績達成度	76.0%	人権視点達成度	92.0%	
○ 講評 ●新たな人権課題に加えた「性的マイノリティの人権」と「働く人の人権」の取組を進 めること。				